

授業概要

私たちにとって「宗教」とは何か、どのようなものか？。日本人は、新年に神社で初詣を行い、お盆に祖先供養を行い、各種の年中行事に参加し、教会で結婚式を挙げ、お寺で葬儀を行う。無宗教と思っている人でも、ほとんど意識することなく、さまざまな慣習に従い、宗教思想の影響も受けている。この講義では、世界や日本のさまざまな「宗教」について比較対照し、その共通点や相違点について考察する。また、「宗教」の多様な世界観・死生観や慣行、宗教間・宗派間の争いなどについて、調査・統計資料、民族誌、新聞記事、アニメなど各種の資料とトピックスを交えながら講義する。

授業計画

第1回	イントロダクション：宗教を問い直す
第2回	世界宗教の形成と特徴：四大文明と民族宗教・世界宗教
第3回	民族宗教の盛衰①：ゾロアスター教
第4回	民族宗教の盛衰②：ユダヤ教
第5回	世界宗教の形成①：キリスト教：正統と異端
第6回	世界宗教の形成②：キリスト教：カトリックとプロテスタント
第7回	世界宗教の形成③：イスラーム：正統と異端
第8回	世界宗教の形成④：イスラーム：原理主義と神秘主義
第9回	世界宗教の形成⑤：ヒンドゥー教
第10回	世界宗教の形成⑥：原始仏教とその伝播
第11回	日本仏教の展開①：日本の伝統仏教①
第12回	日本仏教の展開②：日本の伝統仏教②
第13回	近代宗教の展開①：日本における仏教系新宗教
第14回	近代宗教の展開②：日本における神道系新宗教
第15回	宗教の争いを考える：アニメ『火の鳥』を素材にして
第16回	試験を行う

到達目標

- 1) 世界宗教・民族宗教・新宗教についての基本的特徴と動向を知る
- 2) 宗教の根源にある共通命題と、各宗教・宗派で異なる思想・教義等を理解する
- 3) 現代における宗教の可能性と多様性について、さまざまな視点から考察できるようになる

履修上の注意

1 回目のイントロダクションには必ず参加すること。
受講希望者が多数の場合には抽選を行うことがある。
発表やディスカッションに積極的に参加しようとする意欲の高い学生の参加を歓迎する。
なお、講義内容と発表は進度に応じて柔軟に対応・変化する。

予習復習

各回の講義の最後に、次回までの復習・予習項目について指示する。
前回の内容の復習は講義の冒頭で行う。

評価方法

- 1) 試験による評価、2) レポートと発表による評価、3) 平常点による評価、の3つを総合して行う。

テキスト

特に指定しない。オリジナルの講義資料プリントを配布する。
参考書などは講義のなかで適宜指示する。